
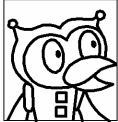


算数 学習相談		学研教育情報資料センター
		小 / 算数 / 6年 / 数と計算 / 分数のわり算 / 理解シート

## $2\frac{2}{3} \div 2\frac{1}{5}$ の計算は、どのように考えるの

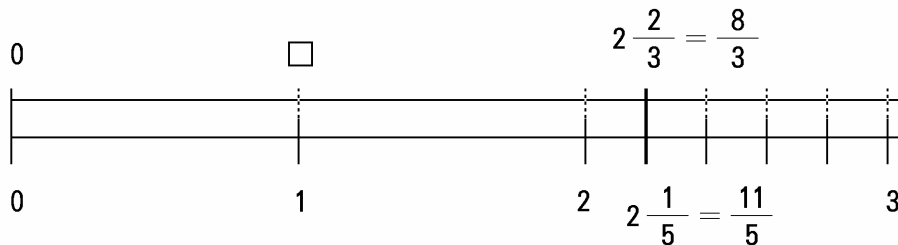
(帯整数÷帯分数・数直線で考える方法)



数直線で、1にあたるものがいくつになるか考えるんだよ。

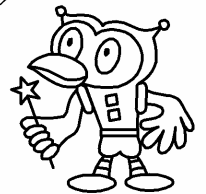
1

数の関係を、数直線に表してみましょう。



- ・1のとき、いくつになるかを求めることになります。
- ・1あたりの量を求めるので、わり算で求められます。
- ・式は、 $2\frac{2}{3} \div 2\frac{1}{5}$  になります。

帯分数でも  
心配なく  
ていいよ。



2

計算をしましょう。

$$\begin{aligned} 2\frac{2}{3} \div 2\frac{1}{5} &= \frac{8}{3} \div \frac{11}{5} \\ &= \frac{8}{3} \times \frac{5}{11} \\ &= \frac{8 \times 5}{3 \times 11} \\ &= \frac{40}{33} \\ &= 1\frac{7}{33} \end{aligned}$$

〔計算のポイント〕

- ① 帯分数を仮分数になおしましょう。
- ② わる数の分数を、分数のかけ算の形にしましょう。
- ③ 分子と分子、分母と分母をかける形にしましょう。
- ④ かけ算をしましょう。
- ⑤ 仮分数を帯分数にしましょう。

〔注意〕教科書によっては、仮分数のまま、  
答えにすることがあります。

〔覚えておこう〕帯分数のわり算は、帯分数を仮分数になおして、  
真分数のわり算と同じように計算します。

$$\frac{b}{a} \div \frac{d}{c} = \frac{b}{a} \times \frac{c}{d} = \frac{b \times c}{a \times d}$$